

LCGT デザイン文書化ミーティング・メモ

大体(SAS 以外)、当初の割り振りどおり執筆担当者が決まった。
新たに解析の記述を組み込むことを決定した。

文書化にあたって曖昧さをなくすために

- 1 . Broadband RSE と補助干渉計は低温化に必要な技術として取り扱う。これ以上のことはオプションとする。
- 2 . 複合化が曖昧だったが、3km 干渉計 2 台の構成とする。

とした。これで残る大きな課題は

- ・ 吸収の小さなサファイアが調達できるか？
 - Crystal Systems の 20ppm/cm サファイアが入手できるとする。

となった。